

2020年11月26日 第2430回例会
11月第4例会

テーマ ROTARY:ROTARY OPENS OPPORTUNITIES
「ロータリーは機会の扉を開く」

本年度会長テーマ
「ロータリーを心地よく」

「ロータリー財団月間」

◆ 会長時間 ◆

浜田会長



先週の例会終了後、2020-21年度在広RC正副会長幹事会議が開かれるホテルグランヴィア広島に向かう途中、携帯電話に「羽井さんが間質性肺炎で入院していたが今日の昼過ぎに亡くなった」との連絡が入りました。中学・高校そして大学も同じ学び舎で過ごしました。「ワシより親父の方が元気で、仕事のことに口出しばかりするケーやれんよ」とニコニコしながらいつもぼやいていたのを思い出しましたので「元気なお父さんが寂しがられるネ」と連絡をいただいた方に申しあげると「親父さんも7月に亡くなられた」とのこと。正副会長幹事会議が終了し、原君の車で送っていただいて帰宅すると、羽井さん御本人よりお父上の御不幸による喪中の挨拶が届いておりました。

3年前、当クラブを退会された後、以前より調子の良くなかった腰の手術をされ、リハビリに励んでおられた時「あんたよりよっぽど優秀らしい息子に会社を譲って、のんびりできるようになったんじゃろう、ロータリーに戻ってきなさいや」とお声がけしたのが、つい先日のように思い出されます。

葬儀は21日神式の神葬祭で執り行われ、住吉神社の森脇君によって祭詞が奏上されましたことを御報告させていただきます。

御霊の御平安を心よりお祈りいたします。

☒ 物故会員に黙祷

羽井 紀行（はねい としゆき）元会員（内外飼料㈱ 代表取締役会長）が11月19日(木)にご逝去されましたので、謹んでお知らせいたします。（享年72歳）

● 委員会報告

✳ プログラム・出席委員会

出席報告 井下委員長

本日（11月26日・木曜日）

会員数	89名	出席者	79名
欠席者	10名	ご来客	0名
ご来賓	0名	ゲスト	0名
		計	79名

4週間前の例会（2020年10月29日・木曜日）
出席率 100%



● 同好会報告

♣ 紫雀会 鈴木世話人

紫雀会11月例会は11月19日(木) 午後6時より庚午クラブで行われました。お隣のそば吉で腹ごしらえしてからのスタートとなりました。

この日は8名の参加となり、混戦を抜け出し勝利したのは復活、岡野名人でした。準優勝はこのところ調子を上げている三浦君。3位はオプサーバーの高田さんでした。

次回例会は12月10日(木) 午後6時より立町にあります麻雀マックでの開催です。

● 会員記念日



奥様お誕生日おめでとうございます。

(4名)

土井君	まり夫人
瀬崎君	由香夫人
香川(浩)君	淳子夫人
上野(純)君	和枝夫人



10月決算月おめでとうございます。

(2名)

三浦君	
鈴木君	プルデンシャル生命保険㈱ 広島第二支社 第一営業所



● スマイルボックス

SAA 松岡(幹)君

😊 垣見君 (自主申告・金一封)

このたび皆さまにお配りしたのは、弊社 SeeBlock(株)が販売しております携帯型カードタイプの除菌消臭材マイクロバスターです。

薄い形状でコンパクトのため、ポケットやカバンの中にスマートに収まり、細かい霧状のミストで200回以上噴霧が可能です。またこの除菌消臭材は次亜塩素酸やアルコール成分を含まないため、手指にも優しく相手製品を痛めにくいのも特徴です。

オリジナルのノベルティグッズ、社員携帯用として様々な面で好評をいただいております。

😊 加藤君 (自主申告・ダブル)

本日原幹事に許可をいただき、弊社冬のパンフレットをボックス配布させていただきました。

今年のおすすめ商品は、数量限定の特製 賀正上生菓子です。通常の生菓子より一回り大きく、材料に黒豆や百合根を使い、また通常生菓子では使えない細工技術を駆使したお正月用の豪華な生菓子です。12月31日店頭受渡しです。お歳暮、御年賀商品も取り揃えております。ご利用のほどよろしくお願いいたします。

😊 児玉君、松岡(幹)君、寺岡君

11月21日の中国新聞に、児玉病院 新病棟落成の記事とともにすばらしい新病棟の全体写真が掲載されていました。

設計から施工に携わった会社一覧の中に松岡

製作所と日立ビルシステム中国支社の名がありました。松岡(幹)君、寺岡君もご一緒に出宝お願いいたします。

😊 福田君

11月19日の中国新聞セレクトに『コロナ雑感』と題しまして、福田君のコラムが掲載されておりました。

「医療現場は緊張感を保ち続けている中、医療とは関係なく経済政策一辺倒の指導者を持つ国のコロナ対策は悲しい結果を招いている。指導者によって明暗が別れている」と書かれておられました。

😊 瀬崎君

11月24日の中国新聞に、初の「ひろでんの日」旧車両を公開との記事がございました。

11月23日「ひろでんの日2020」を千田車庫で開き、同社最古の被爆電車「156号」を33年ぶりに公開し、鉄道ファンが撮影や乗車を楽しんだとありました。

😊 久保君

10月1日、中国新聞に『サンフレコインを集めて』と題し、J1 サンフレッチェ広島の記事がありました。

チームのファンを増やしながら広島の活性化につなげるため、新スタジアム開業にむけてスマホアプリでの本格展開を目指すということでした。

😊 中村(哲)君

広島西法人会11月会報に『企業紹介会員企業に学ぶ』と題し、カクサン食品(株)の記事が紹介されていました。表紙には基本理念と中村(哲)君の顔写真、本文には2018年12月に新工場も竣工し順調に操業している中、コロナ禍を乗り越えてさらに会社を発展させたいとありました。

😊 田島君

11月22・23日の2日にわたり、囲碁の若手棋士による広島アルミ杯の記事が中国新聞にありました。

広島アルミ杯は囲碁好きでプロ顔負けの田島君のお兄様が若手棋士の一助になればと始められたそうです。

😊 紫雀会

11月例会で1位の岡野君はダブルで、2位の三浦君もご出宝をお願いいたします。

● スマンボックス

松岡(幹)君

今月最初のスマイルボックスで、中国新聞に掲載された山木君の叙勲談話をご紹介しましたが、その叙勲の内容がもれていました。

山木君におかれましては、広島県下で旭日章を受章された8名の中で唯一、旭日中綬章を受章されましたことをあらためてご紹介してスマンボックスといたします。

■ 卓 話



損害保険のお話

隅田 高士 君

損害保険の補償の役割を大きく分けると、自分や会社の建物、什器・商品製品などの資産や営業利益を災害などから守るものを物保険や利益保険。他人に迷惑をかけたときの賠償責任を補填するものを賠償責任保険。不慮の事故や災害での思わぬけがに対する傷害をカバーするものに人保険。ホールインワンなど、思わぬ出費をカバーする費用保険に大別されます。

この仕組みを前提にして、物保険いわゆるご自分や会社の物的資産と第三者から被害を受けたときに受け取る賠償責任には少し違いがあります。

自動車保険の車両保険（物保険）などは新車価格から毎年原価償却をしたものをその年度の価格として契約しますので、その年度の設定価格が上限となります。かたや第三者から不法行為を受けたときに受け取る賠償金の概念は、元通りにする原状復帰が原則ですが、そのもの自体の今の価値いわゆる時価が上限となりますので注意が必要です。

次に、物保険である火災保険の変遷と改定の傾向についてです。

昨今、台風やゲリラ豪雨などによる風災事故や水災事故が多く発生しており、その被害も激化しています。

水害の補償では、住宅であれば床上浸水もしくは45センチ以上の浸水、社屋や工場などの一般物

件では基本は45センチ以上の浸水の規定となっています。最近では、住宅の場合は依然として規定は変わりありませんが、社屋や工場などは水位に関係なく水害の損害を補償できるものも、だんだんと増えてきています。社屋や工場などは立地環境や災害マップなども参考にしながら万一の際に火災保険でしっかり補填できるよう設定された方が良いでしょう。

また最近では地震がいつどこで起きるかわかりません。

1995年の阪神淡路大震災では、すぐに火の手があがり類焼を繰り返しながら広範囲にわたり火災が発生し、甚大な被害を及ぼしました。また2011年の東日本大震災では津波の恐ろしさを改めて痛感しました。

考えるだけで恐ろしくなりますが、そんなこともあり現在は企業系の火災保険にも地震保険をつけるケースが増えてきています。地震による倒壊はもちろんですが、地震による火災や津波は地震保険でしか対応できません。

次に最近の気になるニュースのお話ですが、芸能人などの事故もニュースで見かけたりします。気になるのが、事故を起こした直後、怖くなってその場から立ち去ってしまうというケースです。当て逃げを本当にしたのであれば法により罰せられることはいたし方ありませんが、何でもないと当て逃げという言いがかりをつけられた事案があります。

例えば、自転車や歩行者などと接触してしまいましたが、相手がその場からいなくなったので大丈夫なのだろうと思い込み、そのまま現場から帰ってしまい、後日警察から連絡が入り接触後その場から逃げたとして当て逃げにされてしまうことがありますので後々トラブルにならないよう面倒でも、警察に一本電話だけでもしておくことが大事でしょう。

最後になりますが、ここまで事故など少々暗い話になってしまいましたが、お祝いの費用などを補填するホールインワンやアルバトロス達成の際の費用保障についてです。現在ではだんだん規定が厳しくなっており、ホールインワン達成時には同伴者1名と同伴キャデイの目撃証明が必要となっています。ただ、セルフプレーが多くなっ

ている昨今では同伴キャデイに代わるものとしてゴルフ場使用人、ワンオンイベント業者、先行・後続のパーティーや造園業者などの目撃証明があればOKですので、セルフプレー中の達成の場合は目撃者の確保を最優先にされたら良いと思います。このような明るい話題での保険適用がどんどんあればいいなと思う今日この頃です。

以上大きく4つのテーマでお話させていただきましたが、ご自身の加入している保険がどのようなことに対応できているか？また対応できないものは何なのかをはっきりさせておくことが大切だと思いますし、決してすべてを保険でカバーする必要はないと思います。

小さなリスクは自社で保有したり、保険金に自己負担額を設定することにより、保険料負担を軽減する方法もありますので、保険の更改時には今一度補償内容を再確認してみることも大事なことだと思っています。



西 RC のロータリー ソングについて

三浦 信夫君

先日、ある会員から「西クラブのロータリーソングは他クラブの歌とは違うという話を聞いたのですが、どういうことですか。」と聞かれましたので、私の知っていることをまとめて話をさせていただきます。

私は、昭和56年4月に入会いたしました。もうすぐ40年になります。

入会当日、例会前にロータリー情報の教育を受け例会場へ向かいました。私の気持ちとしては、メンバー全員“事業経営者や教育者、研究者の会”と認識しておりましたが、会場入口に青や赤のタスキを掛けた人が数人立っておられました。“この集まりは何だろう？”…これが最初の驚きでした。そして…いよいよ第2番目の“オドロキ”の時が来ました。そうです、全員で歌をうたい始めました。その歌詞が「手に手つないで…」だったので。今でもはっきり覚えています。

「ここは、小学校の教室ですか…？」ロータリーソングの意味もなにも知らない私にはそう思えたのです。後日、ある先輩会員に「なぜ歌をうたうんですか？」とお聞きしたところ「ロータリーの話は理論ずくめでクラブの雰囲気が盛り上がらないため、皆んなで歌でもうたおうということになったと聞いている」と教えていただきました。

ロータリーソングの誕生は、ロータリー発祥の地、米国で1905年頃始まったと言われていますが、日本では最初、英語の歌詞で歌っていました。1930年日本の地区大会にRI会長代理として来日されたフランク・マルホランド氏から「日本では日本語の歌をうたえば良い」と言われ、“日本のロータリーソング”が誕生したようです。

今日、他クラブにメイクアップ出席をして気付くことは、ピアノ伴奏のロータリーソングが多いと思います。皆さんもそう感じたことはありませんか？西ロータリーのソングも以前は同じものでした。それが今日のものに新しくなったのは、次の経緯によるものです。

私の記憶によれば、たしか諏訪(昭登)君が会長の年度であったと思います。当時、ご高齢の大先輩会員から「音が高くて声が出ない。歌えない。なんとかならないか」との声があり検討が始まりました。

結果、3つの条件がそろいました。それは…

- (1) その頃、当クラブには、「経営懇談会」というカラオケ同好会があり、皆で楽しく歌っていました。
- (2) その会の歌の指導は、児玉ユミ音楽院の児玉ユミ先生がされていました。
- (3) 前年度まで会員として在籍されたヤマハ榊田島支店長の小沢 孝一氏の御好意によって、ヤマハ音楽教室の先生のエレクトーン伴奏で歌うことが出来る。

以上3つの条件の準備によって現在の西RCの新しいロータリーソングが誕生しました。

今日の社会大変化の中、経営の毎日の御苦労は大変なことだと思います。週1回の例会が楽しくなるように、大きな声でロータリーソングを歌い、楽しい時間を過ごし、このことから毎週の例会出席が待ちどうしくなれば実行は大成功でしょう。

なお、この時のコーラスは諏訪 昭登君、生田 博通さん（当時在籍の会員弁護士）、三浦 信夫の3

人で歌いました。

本日の卓話はこれで終わりますが、この話を諏訪(昭登)君に相談したところ、くわしい資料をいただきました。本人のご了承をいただきましたので、週報に掲載させていただきます。

ロータリーソングについて

諏訪 昭登君

1905年2月23日、最初のシカゴRCが創立。

- 初代会長のシルベスター・シールの話によれば、1905年秋頃には、会員が例会においてムードが盛り上がりず話もとぎれがちとなっていた。そこでハリー・ラグルスが、みんなで歌おうじゃないかと言ってラグルスの指揮で歌った。和やか効果もあり、毎例会で歌うようになった。
- 1907年頃、ポール・ハリスが3代目会長の時、ポールが非常に理論ずくめの例会運営をしたため、ムードが荒れ気味となった。そこで、親睦委員長のウィリアム・ネフはハリー・ラグルスに歌唱指導を要請した。それでまたムードの改善があり、以後歌唱を定例のものとした。これが定期的ロータリーソング歌唱の始まりとも言われている。その後、歌唱集は数100曲になったようである。

- ☆ ロータリーソングは心が和める曲なら何でも良く、歌うことによって童心と友情を取り戻し、心を通い合わせるのが目的です。

日本のロータリークラブでのロータリー・ソング

- 1930年(昭和5年)日本の地区大会にRI会長代理としてフランク・マルホランド氏が出席した時「日本では日本語で歌えば良い」と言われた。それまで英語の歌詞で歌っていたのだろう。
- 1933年(昭和8年)12月6日、当時の右傾団体や軍部の圧迫により、例会で“君が代”を歌うことで例会継続が出来た。これが日本でロータリー・ソングの定例的歌唱の始まりと言われている。
- 戦後も各RC第一例会で“君が代”斉唱は今日まで継続されている。日の丸掲揚も継続されているが“君が代”は日本のロータリー・ソングの別格代表でしょう。
- これらの経過の中で、日本製ロータリー・ソ

ング待望が盛り上り、1935年(昭和10年)公募によって“奉仕の理想”“我等の生業”が当選し、また1952年(昭和27年)に“それでこそロータリー”が、1953年(昭和28年)に“手に手つないで”が当選した。

日本では、これらが主に歌われている。なお“R-O-T-A-R-Y”はRIのロータリー・ソングの一つである。英語圏のロータリアン来訪のセレモニーで歌うなどしている。

- 我がクラブでは、東京西RCの故 藤山 一郎氏(会員) 作詞・作曲の“西クラブの歌”を正規の手順を経て導入し、歌っているのも誇りの一つであろう。
- ☆ 東京西RCはシカゴRC(世界最初のクラブ)の世界唯一の姉妹クラブであり、広島西RCはシカゴRCの世界唯一の友好クラブです。



減 量

平原 洋一郎 君

漢方の効果によって減量できた話をさせていた
だきたいと思います。

きっかけは、片山君の一言でした。そろそろ40代
半ばなので健康のために痩せた方がいいだろうと。

30代のころより毎年体重が増えており、それでも若いころは何とか健康を維持していたのですが、40代に入ると体の重さが負担になり膝を痛めてしまいました。これではいずれ歩けなくなるかもしれない。そう不安を覚えていたころ片山君から、島根県に体に良い痩せる漢方を処方してくれる「斐川中央クリニック」があることを聞いたのです。

片山君の誘いで、吉田(浩)君と僕とで一緒に行くことにしました。早速、片山君に予約をしていただいたところ、なんと1年待ち！それでもその漢方を信じ、1年後に外来を受診することに成功！それが今年の3月の話です。

受診当日、1時間ほど待合室で待ったのちに体重と血圧を測定。その後、体の不調や気になることなどを相談。その後採血。100項目の間診票を

記入し、診察は通常1人ずつなのですが、こちらからお願いして3人一緒に診察室で院長の下手先生にカウンセリングをしていただきました。

斐川中央クリニックの下手先生は、出雲ロータリークラブでご活躍されている方で、話題が豊富で多趣味なお方でした。広島では流川、東京では銀座などお酒をたしなむのもお好きなお方でした。

先生から処方された漢方は、オウギ、ソヨウ、マオウ、ジオウ、センキュウ、トウキでした。これはカウンセリングにより、一人ひとりに合った配合になっているようです。

先生から教えていただいた痩せるために必要なことは、処方された漢方を毎日40分煎じて1日1リットル忘れずに飲むということ。

日常生活で気を付けることとして、ごはん、うどん、パンなどの炭水化物禁止。お菓子などのスイーツも禁止。ビール、チューハイ、日本酒など糖質の多いお酒も禁止。その代わり、野菜をたくさん食べること、肉、魚、揚げ物はいくら食べても大丈夫とのことでした。お酒はウイスキー、焼酎なら糖質を気にせずいくら飲んでも問題ないとのことでした。

最初の1週間、お茶を規則正しく毎日1リットル飲むことによって、空腹がおさえられ代謝があがると先生から聞いていたのですが、実際に3キロ減量したのは自分でも驚きました。

自分なりに努力した点としては下記のとおりです。

- ・毎日、漢方茶を煎じて1リットル飲み切ること。(漢方の不味いお茶ですが飲み切ります)
- ・野菜をたくさん食べること。(山盛りのサラダを毎日食べています)
- ・炭水化物を極力とらないこと。(昼食のみラーメンを食べることはあるが、米は8か月間一切口にしていません)
- ・ビールを飲みたいときも必ずハイボールで対応すること。(ハイボール飲酒量はかなり増えました)

ました)

それでも、特に無理をして我慢したわけではなく、すべて私でも簡単にできることばかりでした。

今年の健康診断では、去年までは悪かった数値が全て正常値になっていました。

血圧は132→108 (C判定→A判定) となり、肝機能のγ-GTPは99→41 (D判定→A判定) になっていました。体脂肪は標準にはまだまだ遠いのですが、31.4→25.9に減っていました。痩せることによって健康になれるということを身をもって感じた瞬間でした。

漢方茶を飲み始めてから1か月ごとに平均3～5キロ順調に減量してゆきました。現在8か月目で元の体重より25キロ減です。運動も特にしていません。体重が減ったことにより、体が軽くひざの痛みもなくなり、歩くことも楽になりました。健康のためあと5キロ減量し、リバウンドをせず体重をキープすることが目標です。

減量してから子供たちに「パパ痩せたね!」と言われ、ちょっと嬉しいです。そして、今まで洋服は外国の通販サイズXXXLしか入らなかったのですが、最近は市販の洋服でもサイズが合うようになり、選べる楽しさが増えました。

減量、最高!



卓 話 風 景

● 卓話予告

日時	テ ー マ
12/10(木)	会員卓話 (SAA委員会) 「臈内フローラ」 井原 俊彦 君

例会日・木曜日 12:30～13:30
例会場・ANAクラウンプラザホテル広島
会 長 浜田 広
幹 事 原 敬

事務所・〒730-0011 広島市中区基町6-78
リーガロイヤルホテル広島13F
TEL 082-221-4894・FAX 082-221-4870
E-mail: hwrc@godorc.gr.jp
作 成・会報雑誌・広報委員会

広島西RC

検索